佐渡総合高校　人権ニュース（教職員・生徒・保護者　配布）

【第４号】令和５年１０月２０日　人権教育・同和教育・男女共同参画委員会発

1. 人権講座「越佐にんげん学校」～狭山事件について～に　ご参加ください

日時:10 月 26 日(木)14:30～16:30
場所:県立佐渡総合高校会議室
お申込みとご質問は、　学校 66-3158 担当岩田　までお願いします。

第11	10月26日(木)	狭山事件について / 別所正紀さん 部落解放同盟新潟県連合会 執行委員	1963年5月1日、狭山市で女子高校生が、遺体となって発見された。警察は石川一雄さん（当時24歳）を別件逮捕し、犯人にでっちあげました。「あんなことをするのは部落民にちがいない」という差別意識やマスコミの差別報道で冤罪が生み出されてしまったのです。石川さんは84才になりました。裁判のやり直しを求めています。

狭山事件は前号(3 号)でも詳報しましたが、部落差別に基づく冤罪(えんざい)事件で、今年が最大の山場となっています。この機会に学校の応接室でのリモート講演会にお出かけください(PTA の研修会を兼ねています)。

①佐渡と石川一雄さん

2013(平成 25)年 11 月 25 日新穂ときの村元気館で映画『SAYAMA 見えない手錠を外すまで』の上演に合わせて石川一雄さん早智子さん夫婦と金監督が来島し、満員盛況の会場で座談会を行いました。

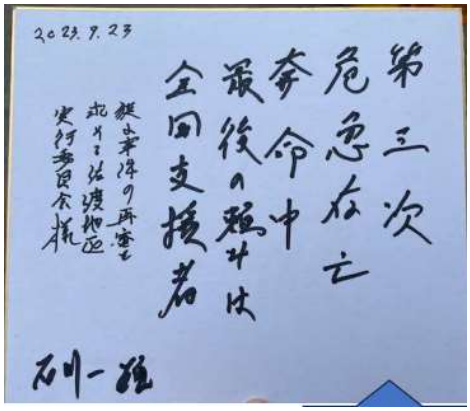
※『SAYAMA 見えない手錠を外すまで』【概要】1963 年 5 月 1 日に埼玉県狭山市で女子高生が殺害された「狭山事件」で、自白の強要や証拠のねつ造によって犯人とされ、現在も無実を訴え続けている石川一雄さんと、その妻の早智子さんに寄り添ったドキュメンタリー。32 年間の獄中生活を強いられ、仮出獄から 19 年間のあわせて 50 年以上にわたり殺人犯のレッテルを貼られ続け、何度も棄却された再審に向けて現在も活動を続けている一雄さんと、彼を支える妻・早智子さんが、苦難の連続の中でも「不運だったが不幸ではない」と自らの人生を真っ直ぐに歩む姿を通して、生きることの美しさや幸せ、愛、友情、正義といった普遍的なメッセージを伝える。2013 年製作／105 分／日本／金聖雄監督

②狭山再審を求める佐渡地区実行委員会

（藤木大豊　実行委員長:相川下山之神町曹洞宗総源寺住職）

狭山事件の第 3 次再審訴訟での再審開始を求めて活動。毎月 23 日に佐和田ろうきん前でスタンディング、署名活動等。

石川一雄さんは、部落差別撲滅と狭山再審＝無実判決のため、全国の支援者、特に佐渡地区の支援者のために檄文を送りました(右写真)。



2. 人権週間は 12/4～12/10(世界人権デー)

①平成 5 年度人権講演会　11 月 9 日(木)14:20～15:10 第一体育館

今年度の人権講演会は、障害者差別について県立佐渡特別支援学校の本間教頭と本間先生のお二人からご講演をいただきます。バスや街中で障害のある人の人権を尊重する行動をとっていますか？

②人権週間人権授業　12 月 6 日(水)LHR の時間に行います。

1 年次:部落差別、2 年次:水平社宣言(部落差別)、3 年次:結婚差別を予定しています。

困っている友達の側に立ち「困っている」と声を出せる佐渡総合高校に！